

会 議 録

会議の名称	西東京市総合計画策定審議会第5回会議
開催日時	平成13年12月27日(木) 午後2時00分から4時00分まで
開催場所	西東京市役所田無庁舎5階503会議室
出席者	倉持委員、荒川委員、武田委員、竹内委員、堀越委員、小林委員、磯村委員、板垣委員、畑委員 (山本委員、川村委員、永田委員欠席) (事務局)坂井企画部長、企画課 池澤主幹、櫻井主査
議 題	(1)西東京市総合計画策定審議会第4回会議の会議録について (2)西東京市総合計画策定における基本方針(案)について (3)新市建設計画について (4)その他
会議資料	(1)西東京市総合計画策定にあたっての基本方針(案)その1 (2)新市建設計画(実施計画)平成13年6月 (3)西東京市市報7月1日号 (4)西東京市民意識調査中間集計状況
会議内容	<input checked="" type="checkbox"/> 全文記録 <input type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
発言者名	発言内容 (西東京市総合計画策定審議会第4回会議の会議録について)
会長	<p>それでは計画策定審議会第4回会議を開催します。まだ、いらっしゃらない委員さんもいらっしゃるが、これから会議を始めたいと思います。なお、荒川さんについては、遅れていらっしゃるという連絡が入っております。会議をはじめさせていただきたいと思います。</p> <p>それでは、会議次第2番目、西東京市総合計画策定審議会第4回会議の会議録についてです。あらかじめ、委員の皆さんのお手元にお送りしてあったと思いますが、修正箇所等があるかご意見をお伺いしたいと思います。</p>
A委員	14ページの7行目あたりからの発言は、私だと思うので、発言者のところに入れていただきたい。
会長	ほかにございますか。
B委員	13ページのE委員の発言は、私だと思うが、9行目のところで「私はふれあいのまちづくりに関わっていて」とあるが、「私はふれあいのまちづくりに関わっていたことがあるが」に変更していただきたい。
会長	<p>ほかにございますか。それでは、2箇所の訂正について事務局にお願いしたい。</p> <p>(西東京市総合計画策定における基本方針(案)について) 続きまして、会議次第の3、総合計画策定における基本方針(案)について</p>

	<p>ということですが、前回の会議では基本方針に掲げる基本項目について、事務局から概略の説明がありました。本日は、事務局から「西東京市総合計画基本方針（案）その1」ということで、資料が配付されていますので、事務局から説明をお願いします。</p> <p>「西東京市総合計画 基本方針（案）その1」に基づき説明。 本日は、前回お示しした6項目のうち、3項目、総合計画策定の趣旨、総合計画の期間、総合計画の構成についてご説明します。 4項目以降は、次回お示ししご意見をいただきながら、最終の基本方針をまとめていきたいと考えていますので、よろしくをお願いします。</p> <p>説明要旨</p> <p>(1)総合計画策定の趣旨</p> <ul style="list-style-type: none"> ○現在、西東京市には、合併協議会で策定した新市建設計画しか市の指針となるものがない。 ○社会経済情勢を見ると、大きな変革をなしている状況の中で、行政需要、市民ニーズが複雑化している。これらに速やかに対応する必要がある。 <p>(2)総合計画の期間</p> <ul style="list-style-type: none"> ○特に、何年という規定はない。それぞれの自治体により計画期間はまちまちである。基本構想、将来都市像を実現するために10年、15年、あるいは20年という長期計画を策定している自治体もある。 ○社会変化の大きい現在では、15年、20年という長期の計画は実効性を持たないのではないかという視点にたち、10年間としている。 <p>(3)総合計画の構成</p> <ul style="list-style-type: none"> ○将来ビジョン 将来ビジョンを達成するための重点プロジェクト 重点プロジェクトを達成するための施策 より早い段階での実効性のある計画を策定する。 ○これらを踏まえ、構成としては、基本構想、基本計画、実施計画により構成する。 ○基本構想は、10年後を展望し、まちづくりの基本理念と将来都市像を示すとともに、基本方針を明らかに総合的かつ計画的な行政運営の指針とする。計画期間は、平成16年度から平成25年度までの10年間を目標年度とする。 ○基本計画は、基本構想を受け、まちづくりの将来都市像を達成するための基本的な施策の体系を示すもの。計画期間は、平成16年度から平成20年度までを前期基本計画、平成21年度から平成25年度までを後期基本計画とする。後期基本計画については、改めて見直しをする。 ○実施計画は、基本計画に定められた施策を具体的な事業として財政的な裏付けを持って実施する。計画期間は、3年間とし、毎年度見直しをする。
会長	<p>それでは、各項目ごとにご意見をいただきたいと思います。まず、総合計画策定の趣旨についてご意見、ご質問等ございますか。</p>
A委員	<p>総合計画を今後策定するにあたって、私が考えているのは、これからの高齢社会を支えていく人をどのようにつくっていくのかという視点である。高齢者が高齢者の面倒をみるような状況にある。NPOに任せるといってもとてもすべてを支えるのは、無理だと思うし、若い人が支えてくれるかといえればそれも難しいと思う。高齢社会への対応ということを前文に入れていただければと思う。</p>

会長	総合計画の内容に関わることだと思いますが、事務局から何か説明がありますか。
池澤主幹	<p>現在、総合計画の策定と並行して地域福祉計画の策定にも着手しているところであるが、市民意識調査をはじめ、計画策定にあたりお互いの計画の整合を図る必要があることから、事務担当者の調整会議をもっているところである。</p> <p>したがって、これからの計画策定の段階において、高齢者社会への対応についても、お互いに情報を交換し、整合を図りながら計画策定を進めていきたいと考えている。</p>
C委員	<p>今までの説明では、新市建設計画を踏まえ、それをグレードアップというか、新市建設計画を包含しながら、さらに発展させた総合計画を策定するというのではなかったか。この文章を読むと、社会経済情勢が変化してきたので、それに対応するために総合計画を策定しますというように感じられる。文章の工夫が必要だと思う。</p>
池澤主幹	<p>新市建設計画は、合併特例法に基づき、合併前の田無市・保谷市合併協議会において策定されたものである。これから策定する総合計画は、新市建設計画を包含し、さらに発展させた新市である西東京市の視点にたった総合計画を策定するというものである。</p>
企画部長	<p>趣旨としては、以前からご説明しているとおり、新市建設計画を包含し、さらに発展させた計画として総合計画を考えており、ただ今ご指摘のあったご理解で間違いはない。文章の表現上の問題であると思うので、誤解のないように文章の工夫をしたいと思います。次回会議で文章を直したものを再度ご提示させていただきたい。</p>
C委員	<p>この項目の下から4行目からの文章に、西東京市独自、あるいは、個性的なということを入れてほしい。</p>
池澤主幹	<p>西東京市オリジナルという部分を入れ、再度、お示ししたいと思います。</p>
会長	<p>次に、総合計画の期間について、ご意見、ご質問ございますか。</p>
A委員	<p>私は計画期間は、10年間でよいと思う。都市計画マスタープランでは20年間を見込んで計画を立てるということになっているが、社会変化の激しい現在では、20年間を見込むというのは非常に難しいと思う。</p>
会長	<p>ほかにご意見ございませんか。なければ、ここの項目については了承ということにしたい。</p>
会長	<p>次に、総合計画の構成についてですが、ご意見、ご質問ございますか。</p>
会長	<p>西東京市の場合についてのことがわからないが、私は、基本構想というのは、夢を描くもので、期間を区切れるものではないという認識であるが、どうなのか。</p> <p>期間を設けるものとしては、基本計画、実施計画になるのではないか。</p>
C委員	<p>私は、目標年度は必要なのではないかと思う。いつまでにどのようなまちにするのかということではないのか。</p>

	<p>また、ベンチマークというか目標数値を設定することが必要なのではないかと。目標数値を設定しないといつまでにやるのか不明確で先送りになるようなことにもなりかねないと思う。</p>
B 委員	<p>基本理念というものがあって、それを実現するためにはどうするのか、それをどう実行していくのかというのが計画全体のイメージだと思っている。したがって、基本理念のようなものは、10 年間ではなく、続くものとして私は捉えている。</p>
会長	<p>私は、基本構想はビジョン、夢を語るものというイメージを持っている。基本構想は、議会の議決を必要とするもので、一方、基本計画、実施計画は財政フレームと連動するもので、これについては、当然、事業化する段階で予算を議会に提案し、議決された後、実施ということになる。したがって、目標年次というのは必要であるが、基本構想は継続するものという認識もっている。</p>
池澤主幹	<p>今回お示ししている総合計画の構成は、基本構想、基本計画、実施計画で構成されているが、10 年後の西東京市の都市像をどのように描き、その都市像の実現に向け、どのようなまちづくりをするのかという捉え方をしている。</p>
D 委員	<p>民間では、計画というものは、絶えず結果に基づき見直しを行い、その都度修正を加えていくのが当たり前であるが、自治体の場合は、そのあたりが難しいのではないかとと思っている。</p>
企画部長	<p>どこまでの範囲を基本構想とするのか、地方自治法の制定時の状況等も調査し、次回会議に報告させていただきたいと思うので、よろしく願いしたい。</p>
C 委員	<p>数値目標を入れる場合、基本構想に入れたらよいのか、または、基本計画に入れたらよいのか。</p>
企画部長	<p>数値目標になじむものと、そうでないものがあるように思う。たとえば、施設をつくるというようなものは具体的な数値目標は設定しやすいかもしれないが、市民との協働といったものは、到達点がわかりづらい中で、数値目標を立てるというのも難しいと思う。今後、行政内部としては何らかの形で行政評価というものについて検討していこうと考えている。したがって、どの部分にどのような方法で数値目標をいれることができるのか、あるいはできないのか研究させていただきたい。</p>
会長	<p>それでは、本日の意見を踏まえ、事務局で再度、内容、文章の表現について、整理してもらい、次回会議で再度検討したいと思う。</p>
会長	<p>(新市建設計画について) 次に新市建設計画についてということですが、前は新市建設計画の基本理念、将来像について事務局から説明があった。本日は、資料として「新市建設計画(実施計画)」が配付されているので、事務局から説明をお願いしたい。</p>
池澤主幹	<p>それでは、配付させていただいている平成 13 年 6 月に作成した「新市建設計画(実施計画)」という資料に基づき、ご説明したい。 本日は、6 つの将来像のうち 3 つ、一つは、「地域の中で支えあう福祉のまち」、二つ目は、「環境にやさしく美しいまち」、三つ目は、「若者を育てるまち」について、各施策体系別の事業計画をご説明したい。</p>

	<p>(以下の施策体系に基づき概略説明)</p> <p>1 地域の中で支えあう福祉のまち</p> <p>(1)福祉施策の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 基幹型在宅介護支援センターの設置 ファミリー・サポート・センターの設立 病後児保育室の設立 芝久保児童館・学童クラブの建替 しもほうや保育園、やぎさわ保育園の改修工事 子どもの家庭支援センターの建設について検討 こどもの発達支援センターの建設 障害者福祉センターの整備について検討 <p>(2)健康の保持・増進</p> <ul style="list-style-type: none"> 健康づくり推進プランの策定 予防事業等の拡充 <p>(3)住環境の改善</p> <ul style="list-style-type: none"> 高齢者・障害者向け住宅の確保 痴呆性高齢者等グループホームの整備 福祉のまちづくりの推進 <p>2 環境にやさしく美しいまち</p> <p>(1)公共緑化の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 公園広場の整備 (仮称)合併記念公園の整備 <p>(2)民有地緑化の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> グリーンバンクの設立 <p>(3)環境対策の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 環境基本計画の策定 <p>(4)ごみの減量化・資源化</p> <ul style="list-style-type: none"> リサイクルプラザの建設 <p>3 若者を育てるまち</p> <p>(1)学校教育の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 小・中学校の施設整備 青嵐中学校校舎建替 西原地区小学校統合事業 通級学級の開設 小学校給食の食器改善 中学校給食の導入に向け検討 教育相談機能の充実 特色ある教育の実現 <p>(2)社会教育・生涯学習の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 郷土資料館の整備について検討 青少年センターの整備について検討
会長	ただ今の説明で、何かご意見・ご質問等ございますか。
E 委員	計画表の中で、事業費が0というのは、どのように理解すればよいのか。
池澤主幹	<p>たとえば、「中学校給食の導入」のところを見ていただくと、導入に向け調査・検討ということで中学校給食の審議会や庁内の検討委員会を立ち上げて実際には進めており、事業費としては予算計上されているが、100万円に満たないものについては、0としている。また、18ページをご覧いただくと、「郷土資料館の整備について検討」ということで、ここでは平成13年度以降</p>

E 委員	<p>0 も入っていない。これは、まだ、具体的に予算化されていないものである。</p> <p>7 ページの「子ども家庭支援センター」も、まだ、何も具体化されていないもので、庁内で検討ということか。</p>
池澤主幹	<p>これは、「田無市・保谷市合併の記録」の 194 ページにある「子ども家庭支援センターの建設について検討」ということで、概算事業費の中に含まれていないが、その下の「こどもの発達支援センターの建設」については、具体的に概算事業費の中に入っている事業である。したがって、現在検討している中で事業課で具体的に事業費を上げてきた段階で、表の中に事業費が入ってくることになる。</p>
企画部長	<p>この新市建設計画を作成したときに、一定程度施設コンセプトがあって具体的に事業費が積み上げられるものについて事業費を入れている。したがって、その当時、これから検討するといったもの、たとえば女性センターをこれから作りますといったときに、規模や場所など、まだ、コンセプトとして固まっていないものは、検討という表現で事業費を 0 計上している。検討した結果、それが具体化してくれば、ローリングする中で、実施計画の中に事業費を計上することになる。</p>
F 委員	<p>8 ページの「障害者福祉センターの整備について検討」も 0 となっているが、これは、整備することについては、検討していることなのか。確か合併協議会の中では、合併後、協議をするということだったと記憶しているが。</p>
企画部長	<p>検討というのは、建てるかどうかも含めての検討ということである。所管は、保健福祉部になっているが、まだ、具体的な計画として企画部の方に話しはきてはいない。必要性の有無も含めて庁内で検討しているという段階である。実施年度の入っていないものは、検討の結果、具体化するもの、あるいは、場合によっては見直しをしていくこともあり得るという要素を含んでいるものである。</p>
F 委員	<p>10 ページの誘導ブロック設置等道路改修というのがあるが、16 年度からになっており、14 年度、15 年度は予算化されていないが、これはどうしてなのか。</p>
池澤主幹	<p>福祉のまちづくりの推進については、この 3 つの事業を一体的なものとして考えているが、ここにある「福祉のまちづくり条例の制定」がされ、整備計画等が制定された段階でそれをもとに事業化していこうというものである。したがって、整備計画が 15 年度で策定され、これを踏まえて 16 年度から誘導ブロック設置等や施設整備費補助を展開していこうという計画になっている。</p>
企画部長	<p>計画の性格は、先ほど、基本構想、基本計画、実施計画があると申し上げたが、まず、大元に人間のような将来像があり、それを具体的に実現するための計画がある。財源はあくまで概算費用であるので、より実行ベースにしていくのが実施計画である。翌年度の行財政状況や市税の収入の動向などを踏まえながら具体的に財源を充てていくことになる。したがって、計画というのは、常に変更していくというか計画年次があっても様々な状況の変化によって、前倒しになったり後送りになったり可変性があるものだということをご承知おきいただきたい。これから作成していく計画も、基本的には計画どおり実行していくのが望ましいが、常に状況の変化に対応して見直しをし</p>

<p>会長</p>	<p>ていくというか、事業内容、事業主体なども含めて、何らかの調整が入ってくるという性格のものであるということでご理解いただきたい。</p> <p>今日の説明は、新市建設計画、あるいは実施計画など、参考ということで非常に細かい説明があったが、次回は、後半を説明していただき、全体像を把握していただければと思う。また、ご意見的なものについては、今後、審議をする中で個々に出していただくことにしたいと思う。なお、不明な点があれば事務局に問い合わせいただければと思うがよろしいか。 (特に意見なし)</p>
<p>会長</p>	<p>(その他) 本日の議題では、その他ということになっているが、市民意識調査の中間集計について、事務局から説明があるようなので、説明願いたい。</p>
<p>池澤主幹</p>	<p>市民意識調査については、11月から無作為抽出した15,000人の18歳以上の方を対象に調査票を送付させていただき、現在、約6,000人の方からご回答をいただき、率にして約42%の回収率である。ご回答いただいたものから順次入力作業を進めているところであるが、本日は、まず入力を終えている1,500件について中間集計状況として資料を配付させていただいた。したがって、クロス集計による分析というところまでにはなっていないので、ご参考までにご覧いただければと考えている。資料の見方について簡単にご説明したい。資料の1ページをご覧いただくと、ここでは生活環境として、「住みよさ」についての設問になっているが、「自然災害対策」をはじめ、3ページの上から3つ目「青少年に対する社会環境・風紀」まで12の質問を行っている。1ページの上から2つ目の表をご覧いただくと、これは、「自然災害対策」についての設問だが、1の満足と答えた方は、1,500人中63人、2のやや満足と答えた方は298人、3のやや不満と答えた方は286人というようにトータル欄の上段は答えた方の人数、下段はその割合を示している。また、平均点を出すために満足を100点、やや満足を70点、やや不満を50点、不満を0点として計算している。概ね55点が平均値ということになり、平均点が55点を上回れば満足の度合いが高く、下回れば満足の度合いが低いということになる。次回の審議会の中では、約6,000件のデータを集計し中間報告というかたちでお示しし、ご説明したいと考えている。</p>
<p>会長</p>	<p>何かご質問があればお伺いするがありますか。 それでは、特にないようなので、市民意識調査についてはこれで終わりにしたい。</p>
<p>会長</p>	<p>次に、来年1月以降の会議日程について、お諮りしたい。あらかじめ事務局の方で各委員さんのご都合について取りまとめたものを配付してもらっている。事務局から説明願いたい。</p>
<p>池澤主幹</p>	<p>それでは、会議日程の集計結果に基づきご説明したい。今回は、委員の皆さんのご都合の悪い日を集計しており、したがって、表中の数は、ご都合の悪い委員さんの人数を載せている。1月、2月についてはご都合の悪い委員さんが1人という日があるが、3月は最低でも2人ということになっている。また、3月は、14年度の当初予算を審議するための定例市議会が開催されることもあり、事務局としては、できれば3月の開催は避けてい</p>

	<p>ただき、4月に2回開催できればと考えている。事務局の案としては、夜間開催にしてほしいというご意見もあったので、1月は、28日月曜日の夜間、2月は28日木曜日の夜間ではどうかと考えている。ただし、開催時間については、午後5時からとするのか、午後6時からとするのか、あるいは午後7時からとするのかについては、委員の皆さんのご都合により決めていただきたい。3月については、先程お話したように開催せず、4月の4日、25日の木曜日の午後または夜間に開催できればと考えている。なお、今までの会議日程を集計してみると、木曜日というのが比較的どの委員さんもお都合がよろしいのではないかと思うので、5月以降は基本的に第4木曜日の午後、または夜間の開催にさせていただければと事務局では考えている。また、各委員の皆さんの日程調整も年間を通した方が押えやすいのではないと思われるので、定例化した方がよいのではと考えている。</p>
<p>会長</p>	<p>それでは、最初に1月、2月の日程について決めたい。事務局案では、1月28日、2月28日であるが、よろしいか。 (了承された) 次に、時間は、何時からがよろしいか。 (挙手により午後5時、午後6時、午後7時について決をとった。その結果、午後6時からということで確認された。)</p>
<p>会長</p>	<p>4月開催ということについて決めたいが、事務局案としては、4月に2回開催ということだが、これについてはいかがか。 (2回開催ということです承された) 事務局案の4月4日は私が都合が悪いので、できれば他の日にしていただきたい。4月については、1月の会議で決めたいと思うがよろしいか。 (特に意見なし)</p>
<p>会長</p>	<p>次に、会議開催日の定例化、年間スケジュール化ということについてはいかがか。</p>
<p>B委員</p>	<p>できれば、年間をとおして決めていただいた方がよい。</p>
<p>会長</p>	<p>他にご意見ございますか。それでは定例化することによろしいか。 (他の委員も定例化の方がよいということで確認された) 委員の皆さんのご都合のよい日が、第4木曜日の夜間ということなので、原則この日で定例化したいがよろしいか。 (原則、毎月第4木曜日を定例とすることで確認された)</p>
<p>C委員</p>	<p>このままのペースでいくと、十分、議論できないのではないかという気がする</p>

池澤主幹	<p>る。場合によっては、月2回のペースで会議をもってもよいのではないか。この半年間の会議の状況を振り返ると少不安である。これは提案である。</p> <p>会議の進め方については、ワークショップなどの手法も考えている。4月の第1回目の会議で、基本方針について答申をいただき、4月の第2回目以降は、ワークショップなどもおろしませながら、進めていきたいと考えている。</p>
会長	<p>今後の、会議の進み具合によって、会議数を増やすことも当然考えられると思う。</p>
A委員	<p>ワークショップを取り入れることについては賛成である。</p>
E委員	<p>これから総合計画を策定するにあたっての全体スケジュールが見えていないので、全体スケジュールがわかるようにしていただきたい。</p>
池澤主幹	<p>全体のスケジュールをあらためてお示ししたいと思う。</p>
C委員	<p>ワークショップというのは、よいと思う。できるだけ多く取り入れていただきたい。</p>
会長	<p>それでは、事務局から全体のスケジュールを示していただいた上で、ご提案いただいた会議回数についても検討したい。</p> <p>次回会議は、1月28日午後6時からとなるので、よろしく願いしたい。本日の会議は、以上で終わりとしたい。</p>